

財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査平成23年1月東北分
(新潟を含む東北7県)」について

財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力㈱取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成23年1月東北分(新潟を含む東北7県)」についてとりまとめましたのでお知らせいたします。

【基調判断】

●今月の基調判断…東北地域の景気は「厳しさが続くなかで、弱いながらも持ち直しの動きがみられる」（据え置き）

- ・消費者の節約志向や企業経営、雇用環境に大きな変化はなく、厳しい状況が続くなかで、冬物や初売りなどの一部で動きがみられたものの、低温と大雪が客足と消費に影響している。一方、原油・原材料価格の高騰などが懸念されているものの、春先の需要期に対する期待感がうかがえる。このことから、総合的には厳しさが続くなかで弱いながらも持ち直しの動きがみられると判断される。

【調査結果のポイント】

(1) キーワード

- ・プラスのキーワード…冬物（現状）、初売り（現状）、新幹線延伸開業（先行き）
- ・マイナスのキーワード…天候（現状、先行き）、原油・原材料価格（現状、先行き）、低価格・買い控え（現状、先行き）

(2) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

- ・現状判断DI「42.8」（▲2.3）は、3か月ぶりに前月を下回り、「横ばい」を示す50を6か月連続で下回った。
- ・家計動向は、消費者の低価格志向や節約志向が続くなかで、初売りや冬物商材など一部に動きがみられたものの、政策効果終了の反動が続いている。また、低温と大雪が客足と消費に影響している。DIは「40.0」（▲4.2）と3か月ぶりに前月を下回り、「横ばい」を示す50を6か月連続で下回っている。
- ・企業動向は、住宅・不動産関連のほか、除雪作業で建設業の一部に動きがみられるものの、円高やコスト競争等の影響から受注環境や売上は依然として低迷しており、企業経営は厳しい状況が続いている。DIは「44.5」（▲2.1）と3か月ぶりに前月を下回り、「横ばい」を示す50を6か月連続で下回っている。
- ・雇用動向は、一部の地域や業種で求人数の動きや派遣需要の高まりがみられるものの、雇用環境は依然として厳しい状況が続いている。DIは「57.1」（+10.5）と4か月ぶりに前月を上回り、「横ばい」を示す50を3か月ぶりに上回っている。

(3) 先行き判断(3か月先の見通し、方向性)

- ・先行き判断DI「47.9」(+4.4)は、3か月連続で前月を上回るものの、「横ばい」を示す50を9か月連続で下回った。
- ・家計動向は、消費者の低価格志向や節約志向に加え、原油・原材料価格の高騰など先行きに対する懸念もあり、景気回復に向けた明るい材料は乏しいが、春先の需要期の動きに期待感がみられる。DIは「47.5」(+4.9)と3か月連続で前月を上回るものの、「横ばい」を示す50を9か月連続で下回っている。
- ・企業動向は、円高の影響や国内需要の落ち込みによる受注環境の低迷に加え、原材料価格の高騰など先行きに対する懸念もあり、厳しい状況は変わらないが、住宅・不動産関連や一部製造業における設備投資の動きなどに期待がもたれている。DIは「47.6」(+2.1)と2か月連続で前月を上回るものの、「横ばい」を示す50を9か月連続で下回っている。
- ・雇用動向は、円高の影響等もあり、雇用環境の大幅な改善は見込めず厳しい状況は変わらないが、一部で新規出店や2012年度の新卒採用計画に前向きな動きがみられる。DIは「51.2」(+4.6)と2か月連続で前月を上回り、「横ばい」を示す50を7か月ぶりに上回っている。

以上

<添付資料>

- 調査結果の概要

<お問い合わせ先>

財団法人 東北活性化研究センター(担当:木村)
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL:022-222-3394 FAX:022-222-3395

【調査結果の概要】

1. 今月の基調判断

景気ウォッチャーの判断によれば、東北地域の景気は、厳しさが続かなかで、弱いながらも持ち直しの動きがみられるとのことである。

2. 今月のDI※

(1) 現状判断（方向性）DI

3か月前との比較である現状判断DIは、42.8（前月比▲2.3）と、3か月ぶりに前月を下回り、「横ばい」を示す50を6か月連続で下回った。

	21年		22年											23年
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北現状	31.2	35.3	39.5	46.2	49.4	46.8	48.6	51.3	42.9	40.7	38.6	42.0	45.1	42.8
家計動向関連	29.5	34.3	38.4	45.4	46.9	44.3	48.3	51.8	44.2	39.2	36.9	40.1	44.2	40.0
企業動向関連	35.0	40.6	43.9	49.4	56.9	53.1	47.4	50.6	38.4	40.4	38.4	45.1	47.6	44.5
雇用関連(参考)	35.7	32.1	37.5	45.5	51.2	51.2	52.4	48.9	43.2	51.2	50.0	47.6	46.6	57.1

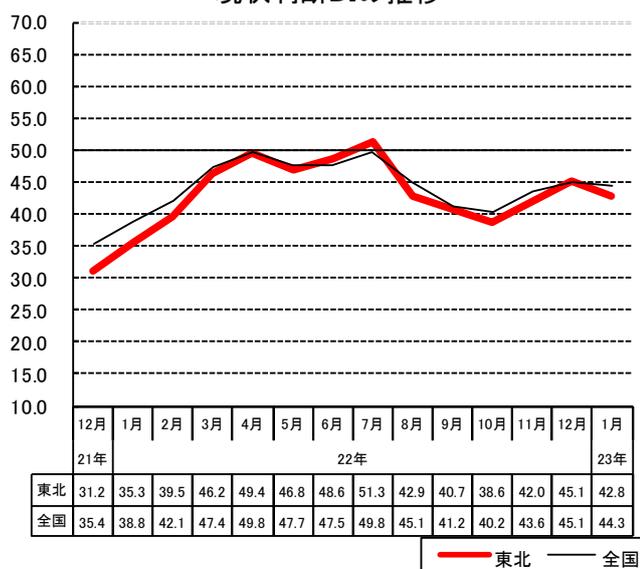
(2) 先行き判断DI

3か月先を予想する先行き判断DIは、47.9（前月比+4.4）と、3か月連続で前月を上回るものの、「横ばい」を示す50を9か月連続で下回った。

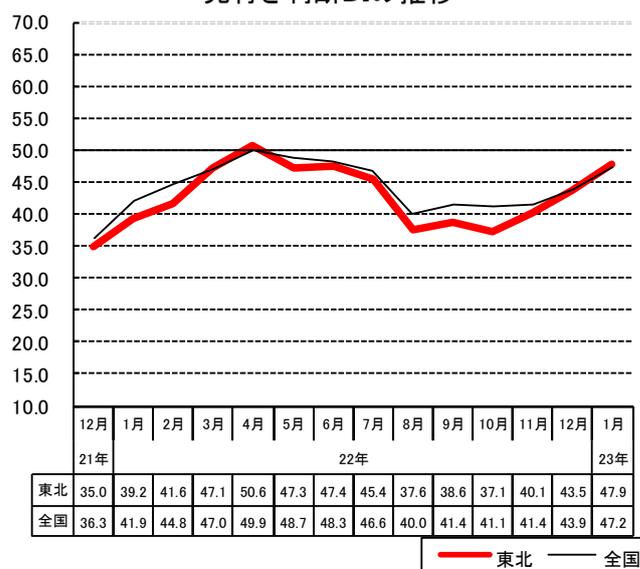
	21年		22年											23年
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北先行き	35.0	39.2	41.6	47.1	50.6	47.3	47.4	45.4	37.6	38.6	37.1	40.1	43.5	47.9
家計動向関連	33.6	38.3	40.3	46.5	50.4	46.3	46.5	44.0	37.6	37.6	36.4	40.7	42.6	47.5
企業動向関連	36.9	45.0	45.1	48.1	50.6	49.4	47.4	48.1	39.0	39.1	37.2	37.2	45.1	47.6
雇用関連(参考)	40.5	33.3	43.8	48.9	52.4	50.0	53.6	48.9	35.2	44.0	41.7	41.7	46.6	51.2

※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

現状判断DIの推移



先行き判断DIの推移



3. 調査の概要

調査期間 平成23年1月25日～1月31日

回答者数 200/210名、回答率95.2%（全国1,843/2,050名、89.9%）

4. 特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（衣料品専門店）…初売りでの上売りが前年比 10%程度増加したが、その一番の要因は 20～30 代の客の来店が増加したことにある。成人式のマーケットではないので、若年層においては景気の低迷を抜け出したことがうかがえる。

（通信会社）…スマートフォンへの注目度が高いこともあり、新商品の投入効果と年末年始の販売増により、来客数や引き合いが増加している。

（観光名所）…国内のフリー客や団体客は、依然として前年を 10 数%下回っているが、台湾や韓国等の外国人客が好調であるため、全体の来客数は前年を上回っている。

（広告業協会）…戸建住宅やマンションなどの販売が伸びてきており好調である。エコポイントなどの政策効果もあるのだろうが、長い間不況が続いたため販売物件が少なかったことも影響している。

（人材派遣会社）…年度末が迫り、人材への需要が一段と高まってきている。オーダー数も増え、人材の取り合いになっているが、テレワーカーなど特定のオーダーに集中しており、繁忙による一般事務増員は依然として少ない。

○「変わらない」

（商店街）…初売りは何年ぶりかで活況を呈した。思いのほか寒い 1 月となり、高齢客を得意とする各店は後半やや失速しているものの、それでも前年並みは確保できている。

（百貨店）…初売りやクリアランスといった購買を喚起するような仕掛けに対する反応は大変良いものの、日常においてはいまだに節約志向が続いており、景気はまだ上向いていない。

（スーパー）…食品の動きは良くなったものの、依然として単価の低い商品の動きが主であり、単価の高い商品は特売品など店舗を選んで買い回る傾向が更に強まっている。

（コンビニ）…たばこ増税により売上と客単価は増加しているものの、販売数は前年比 76%と大幅に減少している。その影響で来客数も前年比 96%と減少している。

（衣料品専門店）…降雪と低温の影響により、セールが始まってから防寒アイテムが好調で、全体の売上を押し上げている。

（酒類専門店）…降雪量の大幅な増加や荒天の日が続いていることで、毎日の雪かきが欠かせず、夜の出入が予想以上に少なくなっており、飲食店向けの販売量が落ち込んでいる。一般消費者も除雪費用などの予想外の出費のために財布のひもはますます固くなっている。

（ガソリンスタンド）…厳冬の影響で灯油の販売が好調であるが、ガソリン、軽油の販売が前年割れとなっている。加えて、原油価格の高騰で仕入価格が大幅に上昇しているが、末端価格への転嫁が進まず収益の悪化を招いている。ここ数か月この状況が続いており、収益が低下している。

（観光型ホテル）…デフレを反映し、売りたい商品よりも、リーズナブルなものから予約が入るという状況で、景気が良くなったという実感がわからない。

（食料品製造業）…初売りは天気にも恵まれ、人出も多く前年よりは良かった。しかし、帰省も終わると人の動きは止まり、売上は伸びず、月全体では前年を割る見込みである。

（木材木製品製造業）…住宅部材の需要が堅調である。

（金融業）…土木建設業では、大雪の影響から除雪作業が順調であり、売上に貢献している。

（新聞社〔求人広告〕）…求人数の動きは、製造業を中心に少しずつ回復しているものの、県内で今月から本格稼働を開始した自動車工場によるプラスの影響は見られない。

（職業安定所）…新規求人数は増加基調で推移しているが、新年度に向けた人員入替えや欠員補充の求人が多く、増員のための求人は低調である。一方、雇用調整の状況を見ると、休業や教育訓練の対象者数は縮小しているものの、事業所数はあまり減少していない。

○「やや悪くなっている」

（商店街）…12 月下旬からの豪雪で客足が鈍っており、正月商戦も盛り上がりには欠けた。ただし、除雪用品を扱う店舗は好調である。また、長靴については今シーズンの在庫を 12 月に売り切り、現在

は欠品である。

(百貨店) …初売り初日は前年実績をクリアしたものの、それ以降は厳しい状態である。加えて、主要顧客である年配層が、大雪により外出を控えているため、来客数が減少している。さらに、セール品については再値下げを待っている傾向が見られ、単価が上がっていない。

(都市型ホテル) …年始の休みの関係か、例年の2、3日は同窓会で混みあうが、今年は2日のみ集中している。料飲施設、レストラン関係については、成人の日以降、非常に寒い日が続いているせいも、客足が悪くなっている。宿泊も同様に動きが悪くなっている。曜日配列や天候の要因があるとはいえ、全体的に非常に落ち込んでいる。

(農林水産業) …大雪の影響で、除雪機械にかかる燃料代が例年より大幅に増加している。

(電気機械器具製造業) …受注量の減少やストップなどがみられる。また、コストダウンの要求も強い。

(人材派遣会社) …就職支援関連や税務申告関係の入札案件については、各県で落札実績も出ているが、これまでの落ち込みや受注できなかった契約を補完するにはほど遠い状況である。

○「悪くなっている」

(家電量販店) …家電エコポイント半減による需要の縮小や積雪の影響により、来客数が減少している。

(自動車備品販売店) …エコカー購入補助金で車両入替が過度に進んだため、顧客である整備工場の入庫率が非常に悪くなっている。また、流通価格帯の車がエコカー購入補助金の影響でスクラップにされ市場にないことも影響し、中古車の売行きも良くない。

(建設業) …雪が多く、経済活動も停滞気味であるため、雪解けまでは客の工事発注も滞っている状態である。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(衣料品専門店) …初売りでの客の様子から、財布のひもが前年よりは少しゆるくなっていることがうかがえるので、前年は非常に厳しかったフレッシュャーズ商戦も、来客数の増加が期待できる。

(人材派遣会社) …来年の4月入社の新卒採用に関して、採用人数を前年と同等かそれ以上にするという企業が増加している。

○「やや良くなる」

(商店街) …新幹線延伸開業の効果で、観光客の入込数並びにホテルの稼働率は前年比で2けた増となっている。今後この動きが更に加速され、商店街並びに専門店の売上が増加することを期待している。

(百貨店) …婦人服や婦人雑貨など主力商品における前年秋からの持ち直しの動きは今後も続き、全体の売上が押し上げていくことが予想される。

(観光型旅館) …同業他社との競争激化から宿泊単価は厳しい傾向にあり、きめ細かな原価管理に注意が必要であるが、宿泊人数は外国人観光客に加え、国内団体客に好調の兆しがある。

(広告業協会) …不動産販売が好調であれば、新しい住宅にふさわしい家具、什器類が売れることになり、この分野の広告宣伝が活発化してくる。テレビスポット、チラシ折込などにその傾向が現れてきている。

(広告代理店) …4月下旬から始まるデスティネーションキャンペーンに向け、印刷物等の増加が予想される。このような大型のキャンペーンや官公庁からの物件がないと状況は厳しい。

(その他企業 [工場施設管理]) …生産量の増加に対応したライン増設の話もあり、見通しは明るい。

(新聞社 [求人広告]) …徐々にではあるが企業の新規出店の動きも出てきており、期待が持てる。

○「変わらない」

(百貨店) …マザーニーズ、フレッシュャーズなどの春のオケージョン対応商品の販売を強化したいが、客は必要以外のものは買わない傾向が強くなっているため、単価の低下は避けられない。

(スーパー) …食品製造加工の原材料である小麦や穀物等の価格が高騰し続けており、国内加工食品へ影響は避けられない。平均価格が上がり始めてくることは確実で、買上点数の推移を注視していく必要がある。また、寒波の影響で野菜も高値が続いていることや、鳥インフルエンザによる鶏肉や鶏卵

への悪影響も気になるところだが、そのほか特に地域経済に大きなプラスになる要因は聞かない。そのため、現在の状況が続くことが予想される。

(コンビニ) …来客数が回復しないことには実質の伴う売上回復とはならない。たばこ以外の一般商材の動きも好調とは言えず、今後2、3か月で景気が良くなるとは思えない。春先の来客数は天候や気温によるところが大きいので、好天を期待したい。

(乗用車販売店) …2～3月の需要期に向けて、宣伝広告を増やしたりイベント案内を行っているが、商談が増えない。さらに、生産能力を絞っているなかで、需要期に受注が集中しても商品が間に合わず売上に繋がらないことも懸念される。

(スナック) …1月に入り客足が一気に途絶え、売上がかなり落ち込んでいることから、この先の歓送迎会のシーズンもあまり期待できそうにない。

(旅行代理店) …2月、3月の先行受注はやや回復しているものの、来店数、相談件数の動きが鈍くなっている。また、ファミリー層は例年並みであるが、熟年夫婦や熟年グループの申込の減少が目立っているため、見通しが見えない状況である。

(通信会社) …スマートフォンの販売数が伸びていく一方で、通常商品の落ち込みが予想されるため、全体的には変わらない。

(食料品製造業) …今後、原材料は少し安くなりそうな気配だが、売上動向としては良くなる見通しが立たない。

(建設業) …出件数の減少や熾烈なコスト競争等、しばらくは現状のまま厳しい競争が続く。

(飲食料品卸売業) …コンビニでのパック酒の値下げ等、いまだ販売の低価格化が進んでいる。利益商材である高品質の商品の需要が回復しなければ、小売、卸共に厳しい状況は続く。

(人材派遣会社) …企業の採用は一時的であり、かつ4月以降の雇用契約が見えてこない。3月末、6月末での契約終了の話も少しずつ出てきており、油断できない。

(職業安定所) …求人数は増加基調であるものの力強さはない。新卒者の採用意欲も低調であり、先の展望が描けない実態が反映されている。

○「やや悪くなる」

(スーパー) …野菜や灯油、ガソリン価格の値上がりや節約志向に一層の拍車をかけることが懸念される。

(衣料品専門店) …趣向性の高い冬物商材は購入者が限られ、売行きも一時的であり、市場全体が活性化されるわけではなく、先行きの不透明感は払しょくできない。

(観光型旅館) …長期化する景気低迷のなかで、中小企業や農家の疲弊感がますます大きくなっている。入学や卒業、就職、異動の時期とも重なることから、宿泊を伴う観光旅行に家計の予算が回らない。

(農林水産業) …大雪の影響で、春先の農作業の遅れが予想される。

(繊維工業) …店頭の売行きの悪化に加え、原材料が値上がりしており、原材料高、製品安となることが予想される。

(職業安定所) …事業所都合による離職者及び離職予定者の増加傾向は続く。

○「悪くなる」

(乗用車販売店) …エコカー購入補助金終了直後の10月から需要が落ち込んでおり、販売環境は更に悪化する。

(出版・印刷・同関連産業) …取引先からの受注の動きが1月に入って止まっており、売上は悪かった前年から更に10%以上落ち込んでいる。同業他社でも10%もしくはそれ以上落ち込んでいるところがあり、厳しい状況は続く。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上